



---

久留米大学

御井図書館ニュース

No. 68 2008年9月1日発行

---

## 図書館はタカラの宝庫

健康・スポーツ科学センター 所長 吉水 浩

九州大学に健康科学センターを創設し、健康科学という言葉を世の中に広め定着させられたのは故緒方道彦先生である。緒方先生は本学の附設高・中学校の校長、理事として御尽力された。先生は健康を「心と体の両面にわたって、自分で自身をうまく使いこなしている状態」と定義され、たとえ病気であっても積極的に暮らしていたり、人の面倒を見たり、何か仕事をしたりしている人は健康なのだと説明されていた。そして、健康科学は、「タカラ探しの科学」であり、タカラ探しの科学は、いくつになっても自分の中に潜んでいるタカラを探し、増やし、ふくらませられるものであると提唱された。

健康科学の知識を参考にして行うのが健康づくりである。運動を用いた安全で効率的な健康づくりは、各人の健康状態は勿論のこと、性、年齢、運動歴、運動の実施状況および意欲等を考慮して実施しなければならない。その過程で自分自身の中に潜んでいたタカラに出会い、新たなタカラを探し出し、タカラを求めて突き進む意欲や希望がふくらみ、緒方先生が定義された「心と体の両面にわたって、自分で自身をうまく使いこなしている状態」健康に繋がると推察される。健康づくりで病気に挑戦・改善し、人生における新たな目標や希望を探し出し、独自の活動的なライフスタイルを確立した人も多く見受けられる。しかしながら、健康づくりには自分自身に適合した処方が不可欠であり、手段や方法を間違えるとタカラ探しどころか健康を損なうことも起こりかねない。

図書館は、研究や学習だけでなくいろんなジャンルの情報が集積され、これらを利用する環境も整備されている。したがって、図書館は健康づくりの場面以上に、多くのタカラやタカラ探しの材料や資料が納められており、タカラの宝庫といえる。また最近は情報化社会が浸透し、どの図書館でも検索機能が充実しており、より多くの情報が獲得可能になっている。したがって、図書館でのタカラ探しも健康づくりと同様、自分自身に適合した資料を多くの情報から取捨選択する知識が要求されるであろう。



---

# 本との出会いはふとした瞬間だった

法学部法律学科 林 祐 希

---

私は、小学生の間は、学校での授業以外、ほとんど小説に触れることがなかった。毎年夏休みに読書感想文が宿題として出されていたが、それも嫌々やっていた。文章を書くことが本当に嫌いだったのだ。

そんな私に転機が訪れたのは、中学二年の時だ。夏休み、いつものように読書感想文の宿題が出された。その年は、課題図書の他に、小説、エッセイ、評論、その他活字の図書であれば何でも良しという「自由図書」も追加された。それまでは決められた図書の感想文を嫌々やっていたので、ここは一つ、自分が本当に読みたい本で感想文を書いてみようと思った。とはいっても、それまで活字にはほとんど触れていなかつたため、何を読めばいいのか、よくわからなかつた。書店の小説コーナーを廻っても、いまいちとけ込めなそうなものが見当たらず、途方に暮れていたその時だった。ふと、身に覚えのある名前を見つけた。

『西村京太郎』……日本を代表するミステリー作家で、鉄道を使ったトラベルミステリーで有名な作家である。幼い頃より鉄道が好きだった私は、列車名の付いたタイトルの多い彼の作品に、少しの興味は抱いていた。「いい機会だ。本格的に読んでみよう」一念発起し購入したのは、『特急「白鳥」十四時間』（中公文庫）である。

のめり込むのに時間はかからなかつた。休む間もない展開の多さ、そして鉄道が舞台という魅力もあって、あっという間に読み終えた。ついこの間まで活字に嫌気がさしていた自分とは思えない早さだった。興味を持って読んだので、読書感想文もスラスラ書くことができた。

それからはしばらく、西村氏の作品ばかりを読んでいたのだが、次第に、西村氏のみならず他の小説にも「読んでみたい」という好奇心が湧き、最近の小説から、近代文学、ライトノベルに至るまで、色々読み漁るようになった。今では、「手元に本がないと落ち着かない」ほどの、完全な活字中毒者である。

思えば奇しき縁である。鉄道好きが高じて小説の世界にのめり込むなど、考えてもみなかつたことだ。

「活字離れ」と言われている昨今だが、私は非常に勿体無いと思う。

小説ほど楽しいものはない。食わず嫌いをせず、まずは自分が惹かれたタイトル、或いは表紙の本を手にとって読んでみたらいいと思う。本当に興味を抱いているのならば、きっとすぐにのめり込むはずである。



# お 知 ら せ

夏季休暇中に館内施設が変更されました。

図書館玄関横にロッカーが90個増設されました。どうぞご利用ください。



2F 西側の辞書コーナーが 1F レファレンスコーナーに移設され、2F 閲覧室に学習机が増設されました。





## 諸家自筆短冊の紹介

文学部国際文化学科 講師 大庭 卓也

右は、小沢蘆庵門の歌人、藤井維済（1747 - 1818）の和歌「行路卯花」短冊。中は、歌人・国学者で狂歌もよくした、賀茂季鷹（1754 - 1841）の狂歌「墨田川納涼」短冊。左は、明治の博文館、毎日電報社に勤め、俳人でもあった、武田鶯塘（1871 - 1935）の発句「横しぐれ」短冊。維済は布目押模様、季鷹は打ち曇り漉き模様の料紙、鶯塘は俳画の紅葉によって、それぞれの筆蹟がいっそう映える。こうした視覚的な美しさにくわえ、短冊は、日本学芸史研究上のいろいろの材料をも提供する。なにより、古人の筆蹟が知られるし、また、本文批判の一材料を得ることもできる。さらに、各人の集には見えない作品が、自筆短冊によってはじめて知られる場合もある。今後とも、江戸～明治期における諸家の自筆短冊を本館のコレクションとして収集してゆきたいと考えている。



## 寄 贈 図 書 (学内関係者)

本学教員著書は、閲覧室1階「寄贈図書コーナー」に排架しております。

2008/05/01~2008/07/31受入分

寄贈者氏名	著 者	タ イ ト ル	出 版 社
稻 谷 ふみ枝	稻谷ふみ枝著	高齢者の心理的ウェルビーイングと臨床健康心理学的支援：ポジティブ心理学からのアプローチ	風間書房
大 家 重 夫	大家重夫編	著作権文献・資料目録2006	著作権資料協会
狩 野 啓 子	R. コンネル著／多賀太監訳	ジェンダー学の最前線 (Sekaishiso seminar)	世界思想社
桑 野 栄 治	研究代表者 吉田光男	朝鮮近世士族の社会的性格に関する総合的研究 (科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書:平成16年度～平成19年度)	[東京大学]
桑 野 栄 治	研究代表者 吉田光男	朝鮮書籍から見た中世の日本と国際関係 (科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書:平成16年度～平成19年度)	[佐伯弘次]
堂 前 亮 平	鳥飼香代子著	都市の中の交流空間	鳥飼香代子
萩 尾 由 貴 子	後藤浩土著	最強の課題式論文対策：公務員試験改訂版	CRS
宮 下 和 裕	宮下和裕著	平成の自治体再編と住民自治：希望としての地方自治・再論	自治体研究社
宮 松 浩 憲	Hironori Miyamatsu	La naissance du riche dans l'Europe médiévale	Les Perséides
森 本 芳 樹	Yoshiki Morimoto/ préface de Pierre Toubert	Études sur l'économie rurale du haut Moyen Âge: historiographie, régime domanial, polyptyques carolingiens 1re éd (Bibliothèque du Moyen Âge:25)	De Boeck
吉 田 洋 一	諸富町史編纂委員会	諸富町史	諸富町史編纂事務局
吉 田 洋 一	ヴォルフガング・ミヒエル編	人物と交流1 (中津市歴史民族資料館分館村上医家史料館資料叢書: 5)	中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館
吉 田 洋 一	ヴォルフガング・ミヒエル編	村上玄水資料2 (中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館資料叢書)	中津市歴史民族資料館分館村上医家史料館
吉 田 洋 一	ヴォルフガング・ミヒエル編	村上玄水資料3 (中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館資料叢書)	中津市歴史民俗資料館分館村上医家史料館

※敬称略50音順



KURUME UNIVERSITY SINCE 1928

久留米大学は2008年に創立80周年を迎えました。

## 図書館利用状況（2008年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
開館日数		30	26	30	31	29	146
入館者数	前年同期比	679	-4,260	-5,496	-5,405	-4,208	-18,690
	学内者	22,925	22,399	24,843	39,009	7,789	116,965
	前年同期比	1,626	1,485	1,908	1,665	1,153	7,837
地域住民登録者数	その他学外者	1,754	1,749	2,234	1,837	1,453	9,027
	前年同期比	49	34	44	32	5	164
		71	53	57	59	48	288
貸出冊数 (学生)	前年同期比	139	-477	-103	306	-79	-214
	全 体	1,601	2,121	2,322	3,012	837	9,893
	前年同期比	-57	-167	-102	37	-77	-366
	内、夜間	314	514	561	729	90	2,208
	前年同期比	25	-9	0	91	44	151
	内、土、日曜	137	175	163	292	147	914
	一人当たりの貸出数	0.25	0.33	0.36	0.47	0.13	1.55
貸出冊数 (教職員)	前年同期比	313	41	34	91	11	490
	全 体	836	379	338	332	177	2,062
	前年同期比	-54	-13	-55	26	-32	-128
	内、夜間	49	85	85	103	13	335
	前年同期比	21	11	-29	8	13	24
	内、土、日曜	45	37	21	18	19	140
貸出冊数 (その他学外者)	前年同期比	88	21	-7	-68	-10	24
	全 体	185	185	227	84	152	833
	前年同期比	8	11	-11	-39	-6	-37
	内、夜間	40	72	84	15	23	234
	前年同期比	5	14	24	-40	1	4
	内、土、日曜	35	45	80	18	58	236
AVライブラリー 利 用 件 数	前年同期比	16	11	12	13	-11	41
	学 生	28	22	27	26	4	107
	前年同期比	-1	2	23	22	6	52
	教 職 員	22	40	43	35	9	149
	前年同期比	9	7	3	-1	0	18
	その他の学外者	9	7	3	1	0	20
相 互 利 用 (文献複写)	前年同期比	-7	267	410	-13	169	826
	学 生	91	359	559	90	212	1,311
	前年同期比	-14	-13	-15	-13	6	-49
	教 職 員	27	43	29	27	18	144
	申 込 件 数	0	0	0	0	0	0
相 互 利 用 (現物貸借)	前年同期比	0	0	0	0	0	0
	学 生	0	0	0	0	0	0
	前年同期比	-12	8	13	-5	1	5
	教 職 員	2	27	44	12	6	91
	申 込 件 数	21	-14	-9	-13	1	-14
	その他の学外者	31	10	9	14	23	87

### 〈貸出冊数についての注記〉

- 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
- “夜間”とは、平日の17：00～21：00の夜間開館時間を指す。  
\*なお、4月1日～4月10日、8月5日～9月18日、1月28日～3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
- 地域住民への貸出は、7月9日～8月4日、1月4日～1月27日の期間は停止している。
- 学生一人当たりの貸出数は、平成20年5月1日現在の御井キャンパスの学生数で算定。

編集・発行 久留米大学御井図書館  
 〒839-8502 久留米市御井町1635  
 T E L (0942)44-4015  
 F A X (0942)43-0348  
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>